

松島海岸診療所支援ニュース

2011/04/19

松島センター

全日本民医連・日本医療福祉生協連合同松島 松島対策本部事務局

久々の発行で松島の動きが分からず、恐縮です。

4月に入り、組合員さんと訪問聞き取り調査を中心とした行動から、「3/11から1ヶ月経過し支援のやり方も進んでも良いのでは」と、熱き支援者からの声を地元生協本部との要求から新たに行動しましたのでお知らせします。まず、支援者達と意志統一したのが、「松島海岸診療所が日常診療をスムーズに戻れるよう、今後、組合員さん達に活動している事を知らせる役割」と「海岸診療所体制を知らせるといった様々意味を含めて支援していこう。」、「職員が出来ないことをまず行動しよう。」と言うことで、肉体労働部隊を追加しました。

更に亡くなった職員の遺族からの依頼で家が津波で飲まれ、遺品や次の場所へ移動するのに引っ越し作業の応援がありました。同じ仲間が困っている事実を知り、当日雨の中、泥だらけで遺族と作業し、朝支援者で作ったおにぎりを持参し、温かいお湯と遺族の分も用意し同じ釜の飯を一緒に食べる。最後まで職員としての関わりが出来た。結果、遺族から連絡があり、「ほんとうにありがとうございました。……。」涙で言葉つまった感謝の声を聞き、本当だったら職員がしたかった事を代わりにさせていただき、我々も良かったと本当に感じています。その他、手つかずの倉庫の片付け等行いました。肉体労働班は、大変な思いをしましたが、支援できたと誰もが満足した感想を述べ帰られました。

片手にスコップ、一輪車を用いて貯まったヘドロ除去、独居の高齢者でタンスや冷蔵庫など動かしてくれないかと生協に依頼がきた件に対してすぐに行動する機動性の良さ、さすがです。提案すると快く協力してくれました。



依頼を受けた倉庫の状況
薬局の事務員と大友理事長

今後の予定は、野蒜地区でのなるせの郷の散乱した書類を「我々がいる間に個人情報を守る為にみんなで片付けよう」とする行動を予定しています。現地生協との協議で決定し準備が整い次第行います。本日雨の後は雪が降っています。寒いです。今後はレントゲンが復旧した時点でお知らせに地域を回る予定です。



ヘドロが残る内部

現在の支援者数累計：237人、訪問軒数累計：1201件